

平成25年度第3回川崎区区民会議（全体会議）摘録

日 時：平成25年12月10日（火）午後6時30分

場 所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 15名

藍原晃、赤間靖夫、新井一成、新井トキ子、石渡勝朗、岩瀬絹代、  
木島千栄、小泉忠之、寺尾宇一、富田順人、戸村正房、深澤香織、  
藤岡玲子、吉野智佐雄、米山実

参与 1人

佐野仁昭

傍聴 1人

（進行：北沢副区長）

1 開会

- 委員の出欠と会議の成立の確認
- 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明

2 区長あいさつ

- 出席へのお礼と活発な討議へのお願
- 先月の区民会議フォーラムには皆さまのご協力もあり、多くの区民の方にご参加いただいた。当日公務の重複で途中退席しなければならなかったことをお詫び申し上げたい。
- 11月に就任した福田市長は市民に身近な課題の解決をもっと区役所で図っていきたいとのコメントをしている。皆様からぜひ建設的な意見をいただき、区政に反映していきたい。

（進行：寺尾委員長）

3 議題

(1) 専門部会の進捗状況報告について

すこやか・共に生きる部会石渡部会長、みんなのまちづくり部会藍原部会長から、それぞれ専門部会の進捗状況について資料に基づいて報告があり、意見交換した。主な意見・コメントは以下のとおり。  
藍原部会長 海拔表示板の実物が昨日の災害時要援護者の対策会議の場で配布

された。

事務局（保健福祉センター雨宮所長） 乳幼児以降の予防接種の実態が全く把握されていなかった状況があり、市内でも初めて、中学生を対象に実態調査が行われたことは素晴らしい取組だ。結果を分析し、受診率アップにつなげたい。日本脳炎や子宮頸がんの予防接種の接種率が低いのは、副作用への懸念や一時、接種が中断されていた背景などがあると考えられる。

藍原部会長 予防接種によっては、病院毎に値段が異なるものがある。例えばインフルエンザの予防接種も兄弟が多い家庭だと、その出費は馬鹿にならず負担が大きい。助成等が必要ではないか。また、肺炎予防の接種を知人に進められたが5年間有効なもので1万円とのことだった。

事務局（保健福祉センター雨宮所長） 国の法律で定期接種が決められたもの以外の任意の予防接種の価格は各病院で設定できるようになっている。予防接種に関する助成は、現在高齢者を対象に一部行われているが、それ以外は無いう状況である。要望として伝えたい。

豊本区長 予防接種や健康診断は、川崎区に多い外国人市民を対象とした施策も必要ではないか。超高齢化社会の中で、今後予防医療の重要さは一層増してくるだろう。本日開催された新市長の市政方針に関する代表質問で、がん健診の受診率アップの取組の話題も出ていた。胎児に深刻な影響が指摘されている風疹の予防ワクチンについては、補正予算での対応等も呼びかけていきたい。

1月に大師地区で予定されている情報交換会には、ぜひ地域の教育や子育てに関わる団体にご参加いただき、お力を得ながら進めていきたい。

コミュニティバスについては、かねてから区民の要望の声は把握しているが、川崎区は「交通不便地域」という観点から北部の区と比較すると優先度が低くなってしまう。実現には地域全体の認知度をもっと高め、地域発信で働きかけていただく必要がある。

防災訓練については、区民の意識も非常に高まっている。先日の桜本小学校区で開催された津波避難訓練には400人が参加した。3月に大島小学校、臨港中学校で訓練を開催した際には1000人が参加した。

佐野参与 高齢化の中で、医療費をいかに効果的に使うか、知恵を絞っていく必要がある。現在の医療費の8割は長期入院者に使われるといわれる。そうなる前の予防接種や健診などの予防医療に費用をかければ、将来的、長期的には医療費全体を減らせる可能性がある。他自治体ではワンコインがん検診で、受診率が5割を超えたという例などもあるので、参考にしたい。

防災訓練については、東日本大震災の被災地とその教訓を決して忘れては

ならない。石巻・雄勝中学校で復興に向けた力強い子ども達との活動ドキュメント『たくましく生きよ!』の著者である佐藤校長先生をお呼びして、臨港中学で講演会を開催する予定である。

## (2) 区民会議フォーラムの結果について

新井副委員長が資料4・5に基づき、区民会議フォーラムの各プログラムの実施内容と結果、「川崎区における地域交通に関するアンケート」の集計結果を紹介し、当日の反省・振り返りを行った。主な意見は以下のとおり。

### ①第4期川崎区区民会議の審議・取組状況の説明、来場者についてなど

石渡部会長・寺尾委員長 各所へ動員をお願いした結果、前回より多くの人に参加いただいた。広く声をかけることが大切だ。

小泉委員 もう少し集まるかと思った。もう少し参加者が欲しい。全体の半数近く、50人以上が民生委員の方々だった。もっと他方面の動員が欲しかった。

深澤委員 若い世代の参加が少なかった。どうやって若い世代に来ていただくかが今後の課題だ。

### ②バス試走体験

戸村委員 バス試乗が短縮ルートになってしまったのは残念だった。

吉野委員 南武支線路より南側の地域は、地域的に遮断されていると感じている方もいるようだ。当日のアンケートでは「既存のバス路線で十分」との回答が多かったようだが、実際の車内では、もう少しこうすればというような意見、雰囲気があった。区民の意見をとりいれながら進めていくプロセスが大切だ。

赤間委員 コミュニティバスには期待も高いようだ。

富田委員 コミュニティバス要望のそもそもの発想のひとつに小田地域と大師地域をつなぎたいという構想があったが、今回の試走ルートには反映されていなかった。

岩瀬委員 バス体験は締め切っても問合せがあり、好評だった。

米山委員 みなと祭りなどの臨海部でのイベントの際には、バスの本数が増えてもイベントの来場者で一杯になり、地元の人がバスに乗ることができなくなることもあるようだ。またバスが駅には行かなくても川崎区の東西横断ルートができないかとの意見もあった。

豊本区長 コミュニティバスは導入の際の車両購入等の初期投資については、補助する制度があるが、運営コストで採算が取れる形にならないと実現・継続が難しい。市長は空きタクシーを活用できないかとの答弁もされている。川崎駅ではユニバーサルタクシーが登場し、発着場も整備されたが、これを数人集って利用すれば一人当たり数百円で区内の横の移動も可能となるのではないか。

佐野参与 米国デトロイト市や欧州では「横のバリアフリー」という概念の下に、目的別や性質別のバス路線が効果的に整備された例がある。小田地域のお母さんは、乳幼児の定期健診の際に、保健所まで赤ちゃんを抱えて、2回もバスを乗り継がなければならない。検診実施時の臨時特別バスや、買い物バスとして商店街と連携し、商店街での買い物を促す商品券つきのバスなど、工夫すればお金をかけずに区民のニーズを満たす方法もあるのではないか。

### ③囲碁・将棋を活用した世代間交流

小泉委員 囲碁・将棋コーナーは学校等に声をかけたが2名の児童しか参加がなく、十分な世代交流ができたとは言えなかった。もっと積極的な声かけが必要だった。

豊本区長 学校側との協力が不可欠になるだろう。囲碁や将棋のゲームソフトも多い。子どもの興味を惹くにはこれをうまく活用するなどの工夫もできるのではないか。

### ④外国人市民向け防災訓練の検討（その他防災関係の意見）

藍原部会長 アルファ米や発電機など備蓄の充実をお願いしたい。各小学校単位で充実させると良い。また今回の意見で出た避難所における多言語での掲示の準備なども必要だと思う。

新井委員 町会が、地域にどんな外国人がどれくらいいるのか把握していない。災害時要支援の登録のフォームが多言語化されていないなどの問題も指摘された。プライバシーの問題等あるかもしれないが、どこかで打破が必要だ。

北沢副区長 普段から外国人の近くで活動している方々に集まっていただき、感じていることや課題などたくさんいただいた。外国人にも防災訓練に参加してもらうことは地域の人々にとっても重要なことが確認された。チラシの多言語化ができず、呼びかけられなかった地域の例もあるようだ。外国人にも通訳や支援側に回れる人もいる。

青丘社のご協力もいただき、3月16日に行われる外国人を対象とした

けんこうしんだんおよ ば りよう じょうほうていきょう けんとうちゅう がいこくじんしみん  
健康診断及びその場を利用した情報提供などを検討中である。外国人市民  
あつ ば りよう  
が集まる場をうまく利用していきたい。

とむらいいん あかまいいん りんかいぶ こんびな ーと ぼうさい たい ききかん かん  
戸村委員・赤間委員 臨海部のコンビナートなどの防災に対する危機感を感じて  
いるという ほうげん しつぎ おうとう つづ がいしやうてき  
発言が質疑・応答で続いたのが印象的だった。

いわけいいん かわさきしたいいくかん たてか はなし き びちく ひなんぼしやう  
岩瀬委員 川崎市体育館の建替えの話 を聞いたが、備蓄や避難場所等としての  
かつようよてい どうたいいくかん だいさいがい とき ひなんぼしよ いたい  
活用予定はないのか。→同体育館は大災害の時には避難場所ではなく、遺体  
あんちよ いち とよとくちやう  
安置所という位置づけになっている。(豊本区長)

とよとくちやう こじんてき いけん ちいき しやうぼうだん かたがた やうしえんしや  
豊本区長 個人的な意見になるが、地域の消防団の方々などにも要支援者の  
じょうほう ていきやう たす ほうほう かんが ぼうさい じよせい してん  
情報を提供して助けていただく方法を考えたい。また、防災は女性の視点も  
じゅうやう じよせい に ーず もあるだろう。各学校単位の備蓄の充実など  
ぐたいてき けんとう すず  
も具体的に検討を進めているところだ。

さのさんよ ぼうさい まちが ちしき たいせつ  
佐野参与 防災については、間違った知識をもたないことがまず大切である。

だいさいがいほっせいじ じぶん じぶん いのち まも だいいち げんそく うえ  
大災害発生時はまず自分で自分の命を守ることが第一の原則となる。その上  
ひがいはっせいご た ひと たす がわ ひと そだ かい  
で被害発生後に、他の人を助けられる側の人をどうやって育てていくかが課題  
ひさいち ちゅうがくせい たいへんかつやく はなし  
だ。被災地では中学生が大変活躍したとの話もある。

てらおいんちやう ひさいち がいこくじん たす にほんじん おお き くみん  
寺尾委員長 被災地で、外国人に助けられた日本人も多かったと聞いた。区民が  
て さ の きやうりよく かんきやう へいじやうじ きづ じゅうやう  
手を差し伸べあって協力できる環境を平常時から築いていくことが重要  
だ。

## ⑤ポスターセッション

ふじおかいいん きゅうけい ふんかん いどう じかん た ど  
藤岡委員 休憩10分間や移動の時間のみでは、なかなか立ち止まってもらえな  
かつた。 となり かいぎしつ こえ き かんきやう よ ぜんたい  
隣の会議室の声が聞こえてしまうなど環境も良くなかった。全体の  
ふんいき むずか かいじやう や え ぶぶん  
雰囲気づくりも難しかった。(ただ、会場のつくりから止むを得ない部分が  
みずか いけん か ひと  
あった。) 自ら意見を書いてくれる人はいなかったが、こちらから声をかけ  
ると こと たか うかが わたし きにゆう けん  
答えてくれ、関心の高さが伺えた。それを私たちが記入して7件の  
いけん あつま  
意見が集まった。

ふかさわいいん えれべーたー ま じかん こえ さんかしゃ たいわ  
深澤委員 エレベーターを待つ時間に声をかけた。もっと参加者と対話できると  
よ  
良かった。

よねやまいいん すこ ぼしよ あた くみん こえ き  
米山委員 もう少しきちんと場所が与えられれば、もっと区民の声が聞けたので  
はないか。

## ⑥講演会「認知症予防と運動」

こいずみいいん こうえんかい きやうみぶか はなし き にん  
小泉委員 講演会は興味深い話でもっと聞いていただきたかったが、50人ほど  
しかいなかったのが残念だった。 だいい ぶとりくみせつめいご きゅうけいじかん ふん あいだ  
第1部取組説明後の休憩時間10分の間に

かえ 帰ってしまった方が多くいた。きゅうけいじかん と 休憩時間を取らなくても良かったのではない  
か。

あらいいいん こうし せんせい ゆ に ー く はなし とく  
新井委員 講師の先生には、ユニークでわかりやすいお話をいただいた。特に

こうれいしゃ かたがた き か ち はなし こうか たか  
高齢者の方々に聞く価値のある話で、効果は高かったのではないかと。

きじまいいん こうえんかい たの ため ないよう  
木島委員 講演会は楽しく、為になる内容だった。

#### ⑦その他、全般についてなど

ふじおかいいん くちょう いいんちやう ふたり そうそう かいじやう あと  
藤岡委員 区長と委員長が二人とも早々に会場を後にしたことについて、かな  
り立腹して帰られた来場者がいた。

きじまいいん こんかい たいけんがた きかく ふ お ー ら む はじ  
木島委員 今回のような体験型の企画があるフォーラムは初めてだったが、  
良かったと思う。

とみたいいん こんかい い べん と くみん わす ころ おこな ていきてき  
富田委員 今回のようなイベントを区民が忘れた頃に行うのではなく、定期的  
に行って区民に呼びかけていくことがより多くの区民を集める意味でも重要

ではないかと。

とよもとくちやう ふ お ー ら む ひと なが どうせん けいかく じゃくねんそう いけん す あ  
豊本区長 フォーラムでの人の流れや動線の計画、若年層の意見を吸い上げる  
しくみが来年度以降の課題ではないかと。

#### (3) 平成25年度区民会議交流会の開催について

へいせい ねんどくみんかいぎこうりゆうかい かいさい  
じむきよく しりやう ちと へいせい ねんどくみんかいぎこうりゆうかい がいよう ぷろぐらむとう  
事務局が資料6に基づき、平成25年度区民会議交流会の概要、プログラム等に  
ついて説明した。また前回、参加委員の自己紹介に時間がとられてしまったこ  
とを踏まえ、事前に自己紹介シートの提出が求められており、書式が資料7と  
して提示されるとともに、参加予定者の確認を行った。

#### (4) 今後の審議スケジュールについて

じむきよく しりやう ちと こんご しんぎすけじゅーる せつめい かくにん  
事務局が資料8に基づき、今後の審議スケジュールについて説明し、確認した。

#### (5) その他

いしわたぶかいちやう こ じやうほうこうかんかい ぐみん  
石渡部会長 子ども情報交換会には、区民会議主催で試験的に行います。区民  
会議委員は参加をお願いします。

#### ■閉会宣言

ごご じ ふんへいかい  
午後8時20分閉会

いじやう  
(以上)